

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2021年3月31日発行 第96号 特集号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>



プロの芸術力等を活用した乳幼児・養育者支援のリアル2020

★子育て支援事業 市町村との連携事業

★2020年度パチンコパチスロ社会貢献機構助成

★事業名：0歳～3歳児とその親との愛着を深めるアート・ふれあい・交流事業

★実施施設 10か所

参加者数 288人 (乳幼児：119人 大人：169人)

★目的：将来生きる力となる好奇心、共感力、協調性、コミュニケーション力といった数値では測れない「非認知能力」を育み、身につける最適な時期は、乳幼児期であることに着目した事業。乳幼児とその親・家庭を対象に、乳幼児の驚くような成長発達の発見と、親子の愛着形成につながるアートやふれあいや遊び、交流やワーク等を、行政や子育て支援拠点と連携して実施する。



POSC
パチンコパチスロ社会貢献機構

■子どもの体験事業



■令和2年度子どもゆめ基金助成事業

■事業名：病院、児童相談所、児童養護施設の
子どものQOL向上あそびワークショップ体験

■実施個所 18か所：512人 (子ども 367人 大人 145人)

■目的：長期入院や児童施設の子どもたちに、ワークショップでの遊びや舞台芸術のプロのパフォーマーによる楽しいコミュニケーションの時間を作り、子どもらしいワクワクした笑顔を届ける。合わせて付き添っている家族や病院関係者のほっとするひとときを作る。入院中や児童福祉施設における「子どものQOL向上」をアートで地域から応援する。

特集号

★子育て支援事業 市町村との連携事業

★令和2年度WAM助成事業

★事業名：0歳～2歳児の親が子どもの発達に寄り添い笑顔になる支援事業

★実施施設 10か所：参加者数 246人
(乳幼児：102人 大人：144人)

★目的：0歳～2歳児と子育てをしている親(保育士、支援者)に対し、乳児を研究し尽くしたプロの芸術家によるベビー向けのワークショップを行い、エンパワーされてわが子とあそび、喜びを実感し、乳児の発達に寄り添った日常生活に活かせる手あそびやわらべうた等の芸術的スキルを身につける。孤立しがちな親が、そのスキルを使ってコミュニケーションを楽しみ、わが子といっしょに笑顔で毎日を過ごす一助になること。



★子育て支援事業

★赤い羽根共同募金助成事業

★事業名：0.1.2.3歳児が会おうはじめてのおしばい

★実施施設 3か所：参加者数 63人
(乳幼児 40人 大人 23人)

★目的：・子どもは乳幼児期から人とふれ合い、文化とふれ合うことによって感性を育て、想像力、創造力をひろげ生きる力が育まれる。

- ・文化に触れる機会が限られ、文化芸術体験の格差がない環境づくりに寄与する。
- ・乳児院へ「はじめて出会おうおしばい」を、施設側に費用負担がない形で届ける。



■WAM助成事業成果報告会「赤ちゃんの力でみんなが笑顔に！」(詳細は実績報告書参照)

目的：事業の成果等を社会に発信する 日時：2021年2月10日(火) 14:25～16:10

参加者：91人 (リアル7人 リモート84人)

■協力団体と参加した母親から 感じたリアル

- ①(特)子どもるーぷ袖ヶ浦：田中直子さん 母親：上村春佳さん
- ②白井子ども劇場：森内由紀さん 母親からの手紙
- ③(特)子育てネットワークゆっくっく
板垣光子さん 母親からの手紙

■パフォーマー：乳幼児の作品 保護者に伝えたいこと

- ①(特)表現教育研究所 大沢愛さん
- ②人形劇団ののはな 納富俊郎さん

■施設長・保育士 保護者の様子 プロの力

- ①ひよしだい保育園園長：松本善美さん
- ②白井老幼の館インストラクター：伊藤芳恵さん

■行政：この事業の価値 子育て支援施策として

成田市子育て支援課主幹高仲浩一さん
野田市子育て支援課係長山崎正浩さんからのメッセージ

■推進委員：客観性のある事業のまとめと評価

- ①白百合女子大学特任教授 佐野裕子さん
- ②(特)子ども劇場千葉県センター 中村雪江さん



QOL 向上につながった！ 満足した子どもたちの笑顔！

「子ども中め基金助成金」

体験の風を
おこそう

＜わくわく工作!オンリーワンを作ろう! 濱美幸 他3人＞

1	国府台病院	12月3日(木) 10:40~ 12:10	子ども36人 施設関係者11人
---	-------	-----------------------	-----------------



院内学級の新校舎を広く使って実施。「いくらでも作っていいの?」「いくらでも材料をつかっていいの?」ビー玉万華鏡、革細工、スポンジケーキの3種類に挑戦。想像力を働かせ、出来上がってびっくりの発見あり。様々な活動が中止になる中、入院中の子どもの知的好奇心が高まる体験となった。創造力を大きく膨らませ悩みながらも自由に表現でき、作った作品を満足そうに見せてくれた。自分でもまたやってみたくてという子もいて、今後の生活のQOLの向上にも繋がったと感じた。

＜アフリカンパーカッション BBモフランワーク＞

2	中央児童相談所	10月1日(木) 10:30~11:30	子ども20人 施設関係者5人
3	中央児童相談所	10月8日(木) 10:30 ~11:30	子ども36人 施設関係者6人
4	一宮学園	8月17日(月) 10:00~11:00	子ども40人 施設関係者15人
5	野の花の家	8月20日(木) 13:30~14:30	子ども14人 施設関係者13人



モフランさんたちがあいさつしたら「はあーい!」とすぐに返事をした子、ちょっと表情のなかった男の子たち、身体も表情も硬った子。歌やリズム打ちあたりからだんだん表情が和らいだ。「ぶーたにく ぶたーにく ぶーたにく たべたいな」のリズムでたたくことが、おもしろくて面白くて笑顔になり身体がほぐれていった。中学生の男子が満面笑顔で自分から前に出て楽しそうに思いっきり踊ってはじけた。ダンスでみんなが一つになった。「時間を忘れるほど楽しく、自然の笑顔がでちゃいます!自分の知らない世界にはいろいろな物があって何事も挑戦ということを知った。」子どもたちの気持ちの変化がよく見て取れた。生で聞く音楽は子どもたちの感覚や感情に触れ、豊かな感覚や感情の発達につながり、QOL 向上につながった。

＜みたこともない生き物をつくろう 永野むつみ 大沢直＞

6	市川児童相談所	8月25日(火) 2回 9:00 10:45	子ども39人 施設関係者8人
---	---------	------------------------	----------------



色とりどりの材料や珍しい道具を、自由に考えて作っていいよ!!と言われ、子どもたちは目を輝かせた。その気持ちが生活、発揮能力の向上につながる。「まわりを見てまねして良いんだよ」という指導者の言葉が安心につながった。困ったときは周りを見たり、聞いたり、試したり、自分から動き出す様子がよくわかった。一人じゃないんだと感ぜられる。人によってスタートする時間や考える時間が違い、それを誰もせついたり指摘しないで自由に過ごせる空間がとても心地よかった。「一番楽しかったことは他の人の作品を見ながら作ること、自分が考えてなかったことをしているのでとても面白かった。」

＜人形劇ワークショップ 納富俊郎・祥子＞

7	銚子児童相談所	10月29日(木) 13:30-14:30	子ども14人 施設関係者6人
---	---------	-----------------------	----------------

普段おしばいをなかなか見ることがない子どもたち。スーパーの袋「ビニール?え〜??」次々と動物に変わると驚き。小さな舞台におおかみが登場すると、おおかみとの言葉のキャッチボールが始まり、負けじと返したり、あかずきんちゃんを助けようとの子も大声援して登場人物のひとりになった。納富さんが子どもたちの気持ちを受け止めながらおしばいを進め、終わると子どもから「おもしろかった〜」沢山の色画用紙や型に迷いながら「ばたばたちょうちょうづくり」。出来上がって動かしてみると、「生きてる」との周りの声に、にっこりうれしそう。作った蝶々をどうだといわんばかりに見せてくれたり、「シールをいっぱい貼って、もうひとつ作っていい」、あちこちから「写真とって〜」、「先生見て〜」の声がして、先生たちも一人一人に「すごいね」と受け止めた。



<ダンスワークショップ 安西真幸・安西千紗>



8	君津児童相談所	7月30日(木) 13:30~14:30	子ども24人 施設関係者8人
9	千葉市児童相談所	8月20日(木) ①9:30②10:15 高浜公民館	子ども25人 施設関係者8人
10	東上総児童相談所	10月26日(月)①13:30②14:00③14:30	子ども20人 施設関係者7人
11	柏児童相談所	11月13日(金) ①9:35②10:40	子ども34人 施設関係者13人
12	野菊野こども館	2月13日(土)13:30~14:30	子ども11人 施設関係者11人

子どもたちは体を動かすのが大好き、ダンスが大好き。失敗しても大丈夫という暖かい雰囲気の中でダンス指導者のまあちゃんが「それいいね!ナイス!」と、声をかけると得意げな笑顔になった。みんなの動きを音楽に乗せたらカッコいいダンスになった。うまい下手などの優劣がつかない環境の中で、伸び伸び自己発揮し「できた」という体験が自信につながる。密にならないように何回かに分けたり、所庭での実施等の工夫も今年ならではの。

子どもの声からは、・ダンスをして気分がよくなった。・いっぱいほめてくれてうれしかった。・普段あまり話さない子と、音楽に合わせておどってみたら、その子のことが、すごくよくわかって一緒にあそぶ仲になった、等があった。施設関係者からは、QOLの構成領域の中の「身体的領域」「心理的領域」において向上が図られたと思う、具体的には体の動かし方や体力の向上、ポジティブに働く心理的影響が挙げられると思う、とあった。



<紙しばいつくってあそぼ! 大崎あけみ他3人>

13	放課後等デイサービス グリーンヒルキ	10月21日(水)	①子ども10人施設関係者3人
14	ツズ ①ゆりのき ②村上	①14:00~14:45②15:30~16:15	②子ども8人 施設関係者4人

<冬のおはなし大型絵本・絵本 作ってあそぼうペーパークラフト 飯野真子他3人>

15	大成会不二学園	12月8日(火) 10:00~11:00	子ども6人 施設関係者8人
----	---------	----------------------	---------------

<のんびり&じっくり♥クラフトタイム 市川淑江他3人 >

16	放課後等デイサービス アフターズ クールセンターむぎ畑	1月5日(火) 13:30~14:30	子ども10人 施設関係者6人
----	--------------------------------	---------------------	----------------

<おさんぽぶたさんと遊ぼう 加形ふみ子他3人>

17	児童発達支援事業所 結	2月22日(月) 10:00~11:00	子ども10人 施設関係者6人
----	-------------	----------------------	----------------

<「革のアクセサリィを作ろう!」井澤智子他3人 >

18	放課後等デイサービス・ ハクナマタタ	2月26日(金) 16:00~17:00	子ども10人 施設関係者7人
----	-----------------------	----------------------	----------------



紙芝居がはじまるよ!



封筒かみしばいをつくったよ!



クリスマスのペーパークラフト



おいしそうなスポンジケーキが
できあがり!



シールをはって風船のブタさん
かわいいね!



革を切って貼ってひもをつけてで
きあがり!革の手触りきもちいい!



1	千葉市 おゆみ野中央子育てリラックス館	10/26 (月) 11:00~11:50	乳幼児 9人 大人 12人
2	白井市 西白井コミュニティープラザ	10/28(水) 10:30~11:30	乳幼児 15人 大人 16人
3	習志野市こどもセンター	10/30 (金) 10:40~11:20	乳幼児 11人 大人 17人



♥おゆみ野中央子育てリラックス館

納富さんが「カエル君を応援してあげてね」と言っただけなのに、カエル君がジャンプするとお母さんたちが声を合わせて、自然に子ども達を抱っこして上に掲げた。演者と、観客の気持ちが一体となって、子どもと共に楽しんでいる、とても微笑ましい瞬間だった。ねんねこねこの子守歌の歌が始まると、しんと耳を傾けみんなが集中。終わるとママ達から「ほー」とやらかい息が漏れる癒しの時間でした。ウレタンロボットのおもしろい動かし方を教えてもらい、ママ達の家でもやってみようという感想が多数。

♥西白井コミュニティープラザ

短期間で14組の応募があり、会場を変更して実施した。しろくまちゃんやかえる、うさぎなどかわいい動物が出てくると、じーっと見て、時々パチパチ手をたたいてお母さんを振り返ってご機嫌でみていた。かえるがジャンプすると、お母さんは自然に子どもを膝にかかえて何度もジャンプさせ、子どもは大喜び。0,1歳児のママ達からは「こんなに長い時間見ていられることにおどろいた。」「封筒、紙コップや紙袋身近なものでこんな楽しく遊べることを知れてよかった。」「紙袋で動物を作ってあそびます！」感想にはママの興味津々の声があふれていた。

♥習志野市こどもセンター

子育て支援課の決断やこどもセンターの協力のもと、コロナ対策をして今年初めての行事。参加した子育て支援課の方も「劇団の方がお母さんと子どもの時間を大切に考えていることがとてもよくわかった。家でも遊べるようにとウレタン人形や封筒をもらえたこともとてもよかった。家でも楽しんでもらえていると思う。お母さんたちの笑顔とても良かった。人数が制限されたことが残念だった。くまの人形は表情がないはずなのに動かし方で悲しそうだったり、うれしそうだったり。プロの技術はさすがだと思った。」とコメント。

赤ちゃんは生まれもった力がある

赤ちゃんは主体的で自ら育つ力を持っている

<わらべうたとおはなしのじかん 大沢愛>

4	成田市子ども館 なかよしひろば	11/17(火) 10:30~11:30	乳幼児 9人 大人 17
5	印西市 そうふけつどの広場	12/4(金) 10:30~11:10	乳幼児 9人 大人 19人
6	松戸市 おやこ DE 広場小金原	12/24(木) 10:00~10:40	乳幼児 6人 大人 8人

赤ちゃんのじっと見る!!を実感させる愛さんのわらべうた。0歳児の親に「てんこてんこ、にぎにぎ、目を見てゆっくりやっているとき真似をするの。」「でもね1歳過ぎると私はそんな赤ちゃんのすることはしないのと卒業して次の真似っこをするの。お名前呼んでお母さんがはーって手を挙げる、幾つですかーって問いかけて、お母さんが一つと言って指を立てて見せてあげるの。いつの間にか真似っこしてやるのよ」愛さんが手を取ってやらせないこと、待つことの大切さを話すと、お母さん方は「そうなんだー。」と驚きの顔。成長発達に合った的確なアドバイス、同じわらべうたを年齢にあったやり方で楽しむ。「かごかご十六もん」子どももお母さんもドキドキ。落とされそうになると笑ってしがみつく子ども達。母たちの感想「またやりたい、見たい、知りたい。こうした実践がないと親も知れないのでまた知りたかった。」「家でもやれそうな遊びをありがとうございました。とても楽しかったです。」「これまで家の中で2人であることが多くても、二人触れ合ってわらべ歌をする事はあまりなかったので、これを機に沢山歌って触れ合いたいです。」と、アンケートが寄せられた。



<おやこでいっしょにダンスあそび 安西真幸>

7	袖ヶ浦市 神納コミュニティセンター	11/24(火) 11:00~11:40	乳幼児7人 大人12人
---	----------------------	-------------------------	----------------

初めは簡単な指あそび手遊び。ママも1,2歳児も真似っこ。講師の「お、いいですねえ」の声につられ次々やってみる。曲がかかるとさっきの手遊びがリズムカルなダンスに!!ママの膝で揺れながら見ていた0歳児もハイハイで好きな所で座る。お尻がリズムで浮き浮き。スタッフの保育士さんは「ママと赤ちゃんが触れたり、抱っこしたり、おんぶしたりというシーンが多く、とても濃い時間だった。会話がままならないストレスの多い時期だが、親子ともに楽しむことができ、とても良いコミュニケーション。」ママ達は「自然と体が動いたので、家でも大好きな歌や曲に自分なりの言葉を当てはめて子どもと踊ってみたい。」「ダンスという自分には少し苦手意識があった、ドキドキしながら参加しましたが、動きはとてもシンプルで私自身も楽しめました。」



マヨネーズの空容器が楽器になったよ!

ぷ〜ぷっぷ〜

<みんなでいっしょにげきあそび 大森靖枝>

8	富里市 ひよしだい保育園	11/26(木) 10:00~10:40	乳幼児14人 大人7人
---	--------------	-------------------------	----------------



おーちゃんの手にかかると、ぬいぐるみが子どもの心を言葉にしてつぶやくし、空容器は楽器に、紙袋も保育室のベッドも保育士さんまでも素敵な舞台の一部になって、お話の世界に子ども達を引き込みます。「次から次へと、子ども達は興味を持ってなんだろうと、変化を楽しんでいた。日常のありふれたものを使った動きの組み合わせ、言葉のリズムと間合いも素晴らしい。0,1,2才が30分以上もの間集中出来て」と先生から驚きの声。「緊張していた子ども達がどんどん心を開いていくのは、先生が心を許す人だから味方、と子ども達は認識してくれたのよ」と靖枝さん。子ども達より先に思わず吹き出し笑う先生方の様子も印象的。想像力の世界で思いっきり心を解放できるプログラム。



<「わらべうたで あ・そ・ぼ♪」川中 美樹>

9	野田市 北コミュニティセンター	12/4(金) 10:00~11:40	乳幼児11人 大人16人
---	--------------------	------------------------	-----------------

赤ちゃん一人一人に「ンコー」「レロレロ」と語りかけながら口のあそび「こうして口の筋肉が育つよ、体の中がスッキリするんですって。」発達の話にもママ達は納得したように、赤ちゃんとも目を合わせて何回も語りかける、と赤ちゃんの表情がゆるむ。「じっと見る」「口まねをして声を出そうとしていた」「こちょこちょが好き」「喜んでいた」「おにぎり食べる真似パクパクしていた」「パパに教えたい」ママ達もたくさん発見がありました。



♪お花がわらった!♪

<「歌子さんのはじめてのコンサート」 歌子さん ぴんたろー>

10	佐倉市 佐倉臼井老幼の館	12/8(火) 10:15~11:00	乳幼児11人 大人20人
----	--------------	------------------------	-----------------

初めの歌で子どもの名前を一人一人呼んでもらって、とてもあったかい。次々と素敵な歌声に0歳児もあーあーと歌うように発声。ぴんたろーさんの楽器演奏にみんな釘付け、興味深々。太鼓に合わせてお母さんと一緒にジャンプ、ジャンプ。お母さんたちはだんだんリラックスして心地よさそうに体を揺らしていた。最後に歌子さんから「お子さんにとって最高の歌手はお母さんです、抱きしめてお母さんがうたってあげてください」とのメッセージが届けられた。「そのまんまでいいんだよという雰囲気が保護者のほっとした表情を引き出してくださる感動。」「圧巻でした。子どももずっとひきつけられ、大人のくすりっと笑ってしまう演出もあり、誰もおいていけない楽しい時間。」と施設の職員さんの声。



くわらべうたあそび うたとおはなしのじかん 大沢愛>

1	長柄町 コミュニティ長柄	8/13 (木) 10:00~11:00	乳幼児 18人 大人 22人
2	茂原市 茂原市保健センター	11/4 (木) 10:00~12:00	乳幼児 20人 大人 23人
3	市原市 国分寺公民館	11/10 (火) 10:00~10:40	乳幼児 2人 大人 10人
4	千葉市小中台公民館	12/3 (木) 11:00~11:40	乳幼児 12人 大人 17人
5	松戸市 およこ DE 広場北小金	12/24(木) 13:00~13:40	乳幼児 4人 大人 8人

お年はひとつ
は〜い



講師の優しい声、リラックスして始まるわらべ歌、ゆったりのにんびりその空気感の中で親子でじっと講師を見つめていると、赤ちゃんが「にこっ！」それを見たお母さん嬉しそうに「にこっ！」やる前のちょっと不安も飛び、心と心が呼び合う。お名前呼んで「は〜い」と講師が手をあげ「お年は一つ」とやると真似をして小さな指を一本立てて得意げな顔でお母さんを見る。ずっと歩き回っていた子、終わってから急にやりだす。「ちゃんと見てたのね」優しく子どもに声をかけた。ママと一緒に歌い手遊びすると「きゃっきゃつ」と声を上げて一緒に歌い、他の子にも興味を持って気にしている姿に成長を感じる。愛さんにも興味津々寄っていく幼児たち。どの会場もわらべ歌を通しての穏やかな時間が流れていった

講師の優しい声、リラックスして始まるわらべ歌、ゆったりのにんびりその空気感の中で親子でじっと講師を見つめていると、赤ちゃんが「にこっ！」それを見たお母さん嬉しそうに「にこっ！」やる前のちょっと不安も飛び、心と心が呼び合う。お名前呼んで「は〜い」と講師が手をあげ「お年は一つ」とやると真似をして小さな指を一本立てて得意げな顔でお母さんを見る。ずっと歩き回っていた子、終わってから急にやりだす。「ちゃんと見てたのね」優しく子どもに声をかけた。ママと一緒に歌い手遊びすると「きゃっきゃつ」と声を上げて一緒に歌い、他の子にも興味を持って気にしている姿に成長を感じる。愛さんにも興味津々寄っていく幼児たち。どの会場もわらべ歌を通しての穏やかな時間が流れていった

パチンコ・パチスロ助成事業 保護者 (88名) <アンケートから>



- 参加した保護者の実感⇒ 95%が実感的に高く評価し、 5%が疲労感を感じた。
楽しかった 69%・癒された 69%・うれしかった 27%・安心できた 21%・ほっとした 32%
疲れた 2% ・気が気でなかった 3%
- 保護者が実感する子どもの表情⇒積極的な参加の実感 94%、消極的な参加は 6%。
よく笑っていた 33%・じーっとみていた 78%・あきたようだ 6%・まねをしていた 13%・みとれていた 18% ・興味をもった 44% ・普段みられないような動きをした 1%
- ワークショップへの参加意欲や期待⇒またみたい・子どもにみせたい 98%以上。高い期待感がある

<「にこにこげきじょう」納富俊郎・納富祥子>

6	横芝光町 子育て支援センター横芝	10/27 (火) 10:20~10:50	乳幼児 22人 大人 25人
---	------------------	--------------------------	-------------------



赤ちゃんの笑顔で
お母さんが笑顔に！

いつも来ている場所で今日は人形劇、ママのお膝でじーとみていると白くまくんの登場に「あれ、くましゃーん」と笑顔で一言。ウレタンロボットが奇妙な動きをするとお膝から降りてのぞき込む男の子。紙コップから出てくる動物に不思議そうに集中し、知ってる動物を指差して名前をお母さんに教えている。人形の動きと納富さんのメリハリある声や音楽に引きつけられて、0才から2歳の子どもたちも親たちも、繰り広げられる納富ワールドに引き付けられて一緒に楽しい時間を過ごした。帰ってからも一緒に遊んでねとおみやげのウレタン人形を手にしてニコニコ顔。



<「ゆったりのんびりわらべうたあそび」川中美樹>

7	市川市 新浜親子つどいの広場	9/16 (水) 10:30~11:15 14:00~14:45	乳幼児 12人 大人 19人
8	四街道市 認定こども園四街道さつき幼稚園	11/18 (水) 10:00~10:40	乳幼児 5人 大人 10人



川中さんとお手玉をしながら皆集まるのを待つお母さんたち、何となく緊張がほぐれる。「昔から一つ一つの動作や歌に意味があるのよ」と伝えていきながら心地よいわらべうたを謡う。その声に耳を傾けじーっと見つめる乳幼児。丁寧に紡ぎだされるわらべうたの時間にいつもは動きの活発な子は集中して見ていたり、引っ込み思案な子はゆったりした空気に安心するのか、ハイハイ追いかけてこで積極的に動き、いつもとは異なる姿にお母さん少し驚きながらも目を細めていた。

「お馬どしどし」や「うさぎピョンピョン」でお母さんと触れ合って動くとき声をあげて大喜び。ミニシアターの「お月さま」や「トンボ」にはしーんとして川中さんの動きをじっと目で追っていた。静と動の素晴らしさがわらべうたにはある。

子どもにとって最高の歌手はお母さん！

<「歌子さんの初めてのコンサート」歌子さん ぴんたろー>



9	君津市八重原公民館	12/26 (土) 10:30~11:10	乳幼児 7人 大人 13人
10	千葉市 子育て支援ステーション ニッセ	3/21 (日) 10:15~11:00 13:15~14:00	乳幼児 17人 大人 20人



いつもの来ている会場でどろどろとジャンベを転がしたぴんたろーさん、さりげなく子どもたちに近づき音を出し興味を誘う。「君たちが今日の主役だよ」と、どんな反応も受け止め、緊張がほどけていったところでコンサートが始まる。歌子さんの透き通る声で子どもたちの名前を歌にのせて歌うと、その優しさや柔らかなトークに身も心もゆれ親も子も集中している。圧巻はぴんたろーさんのまるで喃語のようなおしゃべりに、赤ちゃんがしっかりと目を合せ「あわわわ」と声を出しコミュニケーションしている姿。歌子さんは、子どもの発達や気持ちに配慮し、パパやママに向けて「子どもにとっての最高の歌手はお母さんです。ギュッと抱きしめて歌ってあげてくださいね。」との温かいメッセージにほっと癒された。音の持つ力を十二分に体感し、親子のふれ合いいっぱいコンサートだった。

■WAM 助成事業アンケートから

アンケート(複数回答)や自由記述からカテゴリーに分け整理して分析した。以下、客観的な分析結果から「プロによる芸術的アプローチのプログラムは子育て支援として有効であり期待できる」ということが示唆された。

<保護者(82名)、施設職員・行政・コーディネーター(46名)のアンケートから>

■参加した保護者の実感⇒94%が実感的に高く評価し、6%が疲労感を感じた。

楽しかった 88%・癒された 62%・うれしかった 48%・安心できた 21%・ほっとした 24%。疲れた 4%・気が気でなかった 2%

■保護者が実感する子どもの表情⇒楽しさの実感や積極的な参加の実感 93%、消極的な参加は 7%。

よく笑っていた 31%・じーっとみていた 54%・あきたようだ 7%・まねをしていた 19%・みとれていた 17%・興味をもった 28%・普段みられないような動きをした 3%

■ワークショップへの参加意欲や期待⇒またみたい・子どもにみせたい 98%。高い期待感がある。



実施場所	月 日	内 容	講 師	参加人数
乳児院エンジェルホーム	9月23日	わらべうた	川中美樹	乳幼児17人 保育士8人
イーハートーブ	10月7日	わらべうた	大沢 愛	乳幼児15人 保育士7人
聖愛乳児園	10月26日	わらべうた	川中美樹	乳幼児8人 保育士8人



1歳～2歳対象

川中美樹さんわらべうた

コロナ感染を防ぐために、透明なシートで手作りの簡易舞台がさっと仕立てられ、今日は何がはじまるのだろうか？知らない人がいる。目がキョロキョロ。走り回る子もいる。小さな猿のぬいぐるみを使って赤ちゃんに触ってあげるように「しりしりしり」「おしりこちょこちょ」をやってみせてくれた。保育さんがそれを真似してお膝の上の子どもにやってみせると、くすぐった～い！体をよじってケラケラと笑う。「焼きいもごーろごーろ」ひょうたんぼっくりこ。床をころげまわって起き上がる。うれしそう！抱っこして「えっさっさ」「去年のややと」では抱かれたままで「ばあ～」と顔を近づけると「きゃっきゃつ」と、笑顔がこぼれる。

0歳児対象

大きな手作りフェイスシールドで「てんこ てんこ てんこ～」「にぎにぎにぎ」「てんち てんち てんち」「ちよっつ ちよっつ ちよっつ」「あぶ～あぶ～」と歌いながら赤ちゃんの顔をのぞきこむ。赤ちゃんはじっと見る。笑う、手足を動かす。この瞬間まわりの大人は驚きと感動で思わず笑顔になる。

大沢 愛さんわらべうた

「わらべうたはね。まずお母さんや保育さんがやってみせるの。子どもにやらせようとしないこと。何度も何度もやっているといつか子どもがやるようになるのね。待つことが大事です」と愛さんのメッセージに、「そうなんだ」と安心したように保育さんたちがうなづいた。「チッチッチとんでいけ」と謳い始めると、指の先に目が行き指の動きを追っている。赤ちゃんの目を見ながら、「てんこてんこてんこ」何度も繰り返すと、じっと見つめてニッコリ、嬉しそうに手足を動かす！感じている！感動的な瞬間！



0歳児には動きもゆっくりでわらべうたを、1歳以上は動きのあるもの、集中力が育つ内容にプログラムが変えていた。抱っこして浅くしゃがんだり深くしゃがんだりするともう楽しくたまらない。「もっと」という子どもたちのリクエスト。「キャッキャ」と大きな声を出して笑う。最後は柔らかな大きな布が天井からふわりふわりとおちてきた。やさしさに包まれるような空間が気持ちを癒した。



■WAM 助成事業成果報告会で発信した「提言」

この事業では参加した母親、施設職員、行政の方々からたくさんのアンケートを寄せて頂きました。それらを客観的に分析した結果、以下のような「提言」を得ました。助成団体である独立行政法人福祉医療機からのこの事業への期待は、「行政施策につながるよう提言できることを期待する」でした。事業1年目で得たこの「提言」を活かし、今後、行政との連携事業の強化、子育て支援施策への反映にむけて、次への一步を踏み出したいと思います。

提 言

プロの芸術家による本ワークショップは、質的に優れた内容であり、参加者の次回への参加意欲、期待も大きいことが明らかになった。また、家庭で子育てしている保護者、特に母親の育児支援にも繋がることが示唆された。

今後、このようなワークショップが継続的に実施されることは、コロナ禍の中、家庭で育児をしている母親への有効な子育て支援となるであろう。地域の子育て支援の一環として、行政施策にも繋げていくことが求められる。



令和2年度文化芸術による子供育成事業 —芸術家の派遣事業—

実施した学校 80校 小学校、特別支援学校

参加者数 3,425人

芸術家たちがコロナ禍の子どもたちを元気に 気持ち前向きにした！

新型コロナウイルス感染拡大により、長期間の休校後に再開した学校では、異例づくめの学校生活となり、様々な制約や未来への希望が見えてこないことへの不安から心身への影響が発表されている。8月末から始まった芸術家が学校に行つて授業を行う芸術家の派遣事業では、コロナ対策をとり、感染防止マニュアルに対応するワークショップ企画構成にした。芸術家によって子どもたちの目の輝き、表現する心地よさ、伝統芸能への興味関心などが引きだされ、笑顔と元気を取り戻すことができた。

◆特色その1 対象が6年生に集中

コロナ禍での学校生活では遠足、運動会、校外学習、宿泊旅行などの学校行事が取りやめあるいは縮小され、卒業アルバム用の写真がなく困り、対応策として芸術家派遣事業をとりくむことになった。また小学校生活最後の学年思い出の一つとして、申し込みの理由を上げた学校が多数あった。6年生だけを対象にした学校は狂言、歌舞伎、落語、アフリカンパーカッション、パントマイムの分野へ31校あった。



ミュージカルでオリジナルダンスをのびのびと踊り、はじけた。

◆特色その2 キャリア教育への広がり

芸術家の派遣事業を音楽や国語、体育、図工の教科、総合的学習として位置づけてとりくまれているが、新たにキャリア教育としてとりくみ、表現する芸術家を『魅力的な職業』と感じ、多様な職業を知る学習となっていた。落語家や、舞台に立つ人になることを将来の夢に持ったそう。

◆特色その3 コロナ禍の子どもたちの心を元気に

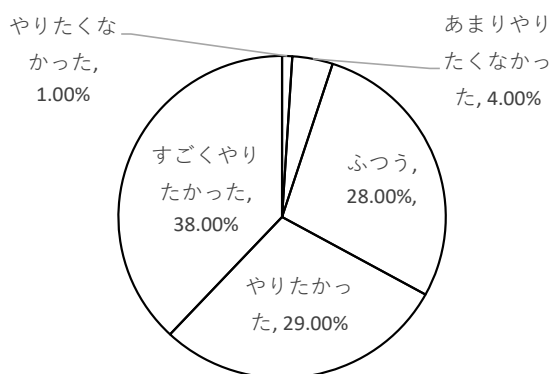
2020年の新学期開始と共に新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緊急事態宣言が出されて休校となった。再開後、学校生活の様変わりし、得意分野で力を発揮する場が少なくなった。人と人との出会いや体験の制限が学年末まで続き、子どもたちの心身への影響が懸念される事態になった。芸術家の派遣事業は8月末から始まり、芸術家派遣の魅力が落とすことなく、検討と工夫を加えたワークショップ企画に作り直し、試行錯誤しながらはじまった。子どもたちがはじめて知る世界に目を輝かせ、発見に胸をおどらせ、五感をフル回転させ満足感を味わった。

子どもたちの声/すご〜く楽しかった！ やる気がわいた！

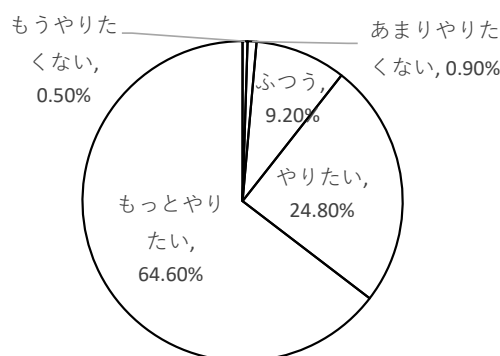
- ★ 最近は爆笑することがなかったのでも楽しかったです。
- 「ぞろぞろ」「牛ほめ」の話に入りこんでしまつて、こんなに想像させることができるなんてすごいなと思いました。
- ★ お腹から声を出してなんだかスッキリした気持ちになりました。
- 自分で考えたりしたダンス、ふだんならないような動きもおもいついたり、すご〜く楽しかったのです！
- ★ ゲームやえんぎができてよかったとおもいます。コミュニケーションのうりよくもあがったとおもいます。
- ◎ 今回のワークショップで夢が一つできました。
- ※ 知らないことを知れたのでとってもいい勉強になったし、楽しかった。
- ★ 予想以上にすご〜い音になってとてもびっくりしました。とても楽しかったです。
- ◎ 演奏がすご〜く上手だったのでやる気がけっこうわきました。
- 狂言が思った以上におもしろくてなみだがでた。
- ★ 自分ですべて考えてできるのでとてもおもしろかったです。
- ◎ 「めだちたがりやだね」と言われてすご〜く悲しかったです。でもダンスはめだちたってもいいとおもいました。
- 2時間がみじかく感じるほど楽しかったです。コロナでできなかったことができたのでうれしかったです。
- ★ 音楽をきいて、とてもおだやかな気持ちになりました。
- ◎ いやべらなくてもつたわるし、ものがなくてもあるようにできるのがすごいと思いました。

◆実施直後「ふりかえりシート」を書いた子ども 3,425 人の気持の変化

ワークショップをやる前の気持



ワークショップをやった後の気持



- ・ワークショップの前はあまり気持ちが動かなかった子が 33%いたが、やった後は 10.2%に減った。逆にやりたくなった子は 89.8%まで高まった。
- ・「初めてなので」で始まり、ドキドキ、難しそう、はずかしいからやりたくない、ちょっとイヤ、めんどくさい等と書かれている。そして「思ったより」で始まり、テレビとちがう！どんどん楽しくなった、やってみたらやっぱり難しかったけどでも楽しかった！〇〇さんみたいになりたい！と続けている。安心して、気持ちが動いているようすがみえる。

子どもの参加人数：3,425 人

実施校：80 校

芸術家の分野別の実施校数

音楽（声楽、器楽、パーカッション）：23 校

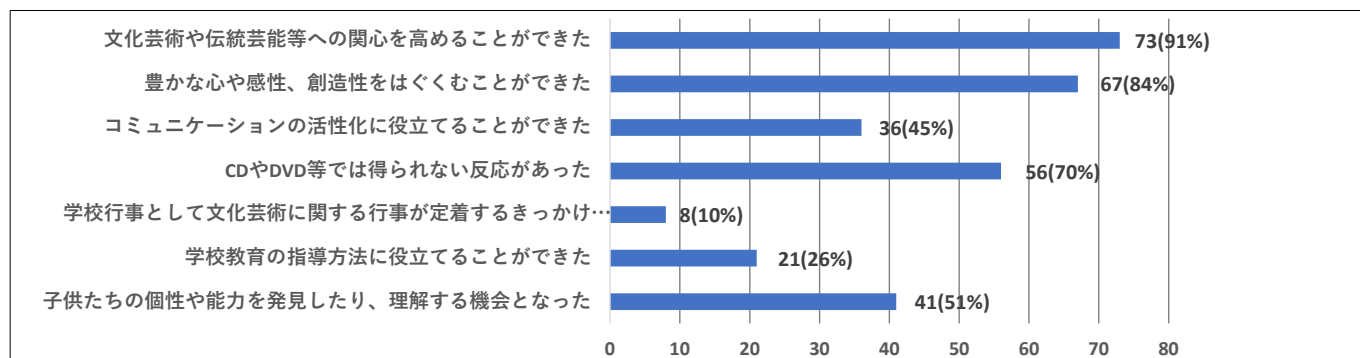
演劇（現代劇、ミュージカル、人形劇、パントマイム、クラウン）：16 校

舞踊（現代舞踊、バレエ）：2 校

伝統芸能（狂言、歌舞伎、和太鼓）：23 校

大衆芸能（落語）：16 校

◆実施した 80 校の「実施状況報告書」でみえた、実施後の効果及び成果（複数回答）



- ・狂言を実際に身近でみてその迫りに皆感動した。アウトプットしたい思いが出たのか進んで表現した。落語ではあまり勉強得意でなかったり目立たない子が手をあげて舞台にあがった。
- ・「非日常の特別感」の中で、友達のよいところを探し、チームワークで取り組むなど学びに大切な要素が組み込まれている。
- ・キットで作ることに慣れているので、材料を自由に選ぶことで発想が豊かになり満足度の高い作品が生まれた。
- ・コロナ禍のため、大人も子どもも心に傷を受けて疲れている。感動体験は傷を癒して前に進むエネルギーになる。
- ・演技、演奏、歌声、ダンス、語り等を五感で体験できるため、記憶や印象に残りやすく、芸術教育として有効な指導法である。また、芸術を仕事にしている人に出会えるのはキャリア教育にもなる。

◆実施後のコーディネーターの感想

- ・この日を心待ちにしていました、と先生の話。コロナ禍のため、多くの学校で行事ができなくストレスを抱えているかもしれない子どもの状況を変える一日になったのではないかと。
- ・担任から子どもたちの集中力のなさ、話を聴けないなど否定的なようすを聞いた。当日講師はゲームの内容などを徹底してわかるように説明したことで、逆転状態になった。楽しい体験で想像&創造力は培われると実感した。
- ・「さすが 6 年生」という文章が多いことに驚く。表現することは恥ずかしい、難しい、でも楽しいし、面白いといった文章に、想像力をつかうことの楽しさを実感してもらえたように思う。
- ・森のオルゴール（大豆やどんぐりを入れてゆらす）づくりに地域の人からどんぐりの提供があり、学校、講師、コーディネーターのおもいがひとつになり、地域の学校を地域の人が支えるすばらしい活動になった。

落語

講師：柳亭市弥 古今亭始 柳家緑太
柳亭市童 入船亭遊京 柳家圭花 柳家小はぜ
伊藤輝(落語協会)



落語は想像力が大事だよ。一人が何と人もの登場人物を演じるんだ。さあ！何人登場したでしょう？

①	8月27日(木)	柏市立逆井小	4年生	55人
②	9月4日(金)	南房総市立富浦小	4年生	37人
③	9月7日(月)	船橋市立三山東小	4年生	61人
④	9月9日(水)	南房総市立白浜小	3・4年生	34人
⑤	9月28日(月)	市川市立国分小	4年生	55人
⑥	10月14日(水)	松戸市立新松戸西小	4年生	56人
⑦	10月23日(金)	栄町立安食小	4年生	56人
⑧	10月28日(水)	匝瑳市立須賀小	5・6年生	45人
⑨	11月2日(月)	市原市立鶴舞小	5・6年生	30人
⑩	11月17日(火)	松戸市立金ヶ作小	4年生	59人
⑪	12月1日(火)	一宮町立東浪見小	3年生	30人
⑫	12月15日(火)	白井市立白井第二小	4・5・6年生	41人
⑬	1月20日(水)	香取市立香取小	4・5・6年生	39人
⑭	1月26日(火)	茂原市立茂原小	6年生	58人
⑮	2月22日(月)	香取市立津宮小	全校	54人
⑯	3月11日(木)	湖北特別支援学校	高等部1・2・3年生	45人

◆プログラム

・落語の解説 ・てぬぐいと扇子の使い方 ・落語の実演「牛ほめ」「初天神」「桃太郎」「転失気」「まんじゅうこわい」「たぬきの恩返し」「もと犬」「平林」から ・高座で演じる体験 ・質問

★体育館の舞台の上に高座をつくり、マイクが置かれ、緋毛氈のあざやかさが目を引いた。解説の後に最初に高座で演じる落語家さんのお話。草履をぬいで両手をついてお辞儀から始まる。同じように子どもたちも演じ、何をしているかを当てる落語家の二席目のお話を聞く。落語が身近になった。
・本物の落語をまじかで見ることができてとてもうれしかった。
・こんなに想像させることができるなんてすごいと思った。
・せんすや手ぬぐいを自分の体の一部のように使いこなせてすごいと思ったのと、千変万化ということばがあるように、できてうらやましいと思った。
・ものを使ってあらわすときや人物に合わせた表情、声、動作が工夫されてやっているからおもしろかった。
・すごくてのしかつたし、おもしろかった。もっと落語のことを知りたいとおもった。

アフリカの太鼓

講師：BBモフラン ダウディ 典子

◆プログラム

・歌と演奏による講師紹介
・ジャンベ、ドウンドウンバ、トーキングドラムなどの楽器紹介
・アフリカのことば
・パーカッション、ダンスとリズムあそび体験

太鼓はコミュニケーション アフリカのリズムでウキウキ気分



①	10月2日(金)	成田市立公津小	5,6年生	35人
②	10月13日(火)	松戸市立六実第二小	1年生	43人
③	10月16日(金)	船橋市立高根小	5・6年生	51人
④	10月21日(水)	千葉市立幸町小	1年生・特別支援学級	42人
⑤	10月23日(金)	松戸市立大橋小	6年生	37人
⑥	11月4日(水)	香取市立小見川北小	1・2年生	44人
⑦	11月11日(水)	君津特別支援	小・中・高等部希望クラス	73人
⑧	11月19日(木)	松戸市立八ヶ崎第二小	6年生	52人
⑨	11月20日(金)	浦安市立明海小	6年生	42人
⑩	11月25日(水)	東金市立日吉台小	3年生	32人
⑪	11月26日(木)	富津市立環小	全校	39人
⑫	12月1日(火)	大網白里市立大網東小	6年生	45人
⑬	12月2日(水)	柏市立酒井根西小	6年生	51人
⑭	12月15日(火)	柏市立手賀東小	全校	46人
⑮	12月16日(水)	つくし特別支援	小学部	89人
⑯	12月18日(金)	富津市立富津小	6年生	35人

★ソーシャルディスタンスで離れていたが、体育館に響き渡る太鼓の迫力！ライオンキングの歌でアフリカの草原が目の前に広がった。トーキングドラムのおしゃべりや言葉クイズで盛り上がり、愉快的リズムで太鼓体験やダンス、はじけた。体中でアフリカを楽しみ、親近感を持った。
・すごく新鮮な感じがして、アフリカの音楽ってこんなに楽しくなるんだと感じた。
・太鼓の体験をして、音が心に響いて興奮が止まらなかった。「上手いね」って褒められてすごく嬉しかった。
・ヤギの毛を付けた太鼓を叩いた、今までに叩いた太鼓と違いすごく音がなったので驚いた。
・「みそスープ」がアフリカだと「目玉スープ」の意味とかで面白かった。

演劇表現

講師：神山一郎

「お芝居はね、自分で考えて動く。自分の表現したいことをそのまま表現するんだよ。」

①	10月9日(金)	鎌ヶ谷市立南部小	5年生	39人
---	----------	----------	-----	-----

◆プログラム

- ・移動ゲーム
- ・指差しゲーム
- ・入れ替わりゲーム
- ・劇づくり



★「今日は想像力を使った遊びを楽しくやります。コミュニケーションや新しい自分を発見できるゲームです」「3つの約束」を子どもたちに伝えた。体を温めると同時に緊張感を解きほぐすため、体育館を壁から壁へ走り回るゲーム。「お芝居やったことある?」「今日のおしぼいはね、台本はない。即興でアドリブで、インプロでやってみよう」

- ・最初のグループがやったときは、なんでこう動かないんだろう もっとこうすればいいのにと、ものすごく考えていた。一人一人のえんぎでふんい気が変わって来て、とつぜんのことで何をやらねばいいかとまどってしまった。このときに人は、一人一人の考えがあるんだと深く思いました。
- ・しばいには正解がないんだなと思った。

歌唱

講師：あらたに葉子 ぴんたろう
上村純（リーフ企画）

本日のミッション「感じながらうたう」！

ーリズム・歌詞・伴奏・楽しくー

①	10月28日(月)	銚子市船木小	全校	65人
---	-----------	--------	----	-----

★はじめの緊張をほぐすように「カムチャッカ 20」楽しい振りつけに全身運動ギター の「かえるの歌」編曲演奏、アフリカの楽器の紹介 小さいシャカシャ 大きなシャカシャカ、「ゆかいに歩けば」ステップを踏みながら歌って心も体もほぐれた。今日のミッション「感じながら歌う」。ひとつひとつをクリアしながら、すべてをクリアし、全員で振り付けして踊り歌った。

- ・たくさんの音が、いっせいにひびきわたって、すごくきれいでした。最後のおどりは、ほぼ全員がそろって、すごいと思いました。
- ・みんなでオリジナルダンスをおどったのが楽しかったです。最初の物語もすご〜く楽しかったです。今日一日とても楽しかったです。最高の思い出です!!

◆プログラム

- ・講師 ・楽器紹介 ・ミニコンサート
- ・「WAになっておどろう」から4つのミッションを目標にして歌うワークショップ
- ・全員で歌おう



「バルーンアートはできても できなくても 人生に何の支障もありません」？！

◆プログラム

- ・クラウンショー披露
- ・バルーンアート体験



クラウン

講師：ブッチィー ぴり
大森ちづえ（蒼い企画）

①	10月6日(火)	市原市立内田小	全校	39人
②	10月22日(木)	市原市立鶴枝小	5年生	21人
③	11月11日(水)	柏市立高柳西小	6年生	54人
④	12月16日(水)	四街道市立山梨小	3・4年生	38人
⑤	1月15日(金)	市川市立須和田の丘支援	高等部1・2・3年生	52人

★二人のクラウンが登場。ボールのジャグリングにすごい連発。チョコレートパフォーマンスでは、「どっちの手にチョコある」に大声援が響き渡った。全員でのバルーンアート体験では絶妙な声かけに笑い合いながら、ネズミ、お花、弓矢が見事に完成。嬉しさにあふれていた。

- ・風船が「バン」割れた時も「ハッピーバースデー」とかいつてもおもしろかった。
- ・大人になったら、ああいう仕事もやってみたい
- ・最初のパフォーマンスからバルーンアートまでずっと笑いっぱなしでした。ひとつひとつの技術がすごくて目がはなせませんでした。

歌舞伎

講師：中嶋宏太郎 新村宗二郎
渡会元之 平澤愛 秋元辰美（前進座）

圧巻！見事な立ちまわり！
見得、にらみ、立ちまわり、きまった！

①	9月18日（金）	松戸市立常盤平第一小	5・6年生	51人
②	9月25日（金）	松戸市立高木小	6年生	31人
③	9月30日（水）	千葉市立高洲第三小	5年生	64人
④	12月14日（月）	松戸市立貝の花小	6年生	53人
⑤	12月15日（火）	市川市立福栄小	6年生	46人
⑥	12月17日（木）	市川市二俣小	6年生	44人
⑦	12月23日（木）	茂原市立豊岡小	6年生	37人

- ◆プログラム
・歌舞伎の解説
・実演
・世話物と時代物
・立ち廻りの体験と発表



★見得を習い、片方の目だけ寄せるにらみも互いにやってみて、「できてる、できてる」の声に緊張がゆるんだ。時代物の立ち廻りの迫力や世話物の「盗人と捕り手」の闇夜の立ち廻りに笑い、感嘆の声と拍手もあがり子どもたちの気持ちを掴んだ。付け打ちの音にも感動。新聞紙の手作りの刀で立ち廻りに挑戦、おにとびが決まってガッツポーズ！知識と体験が結びついた。

・世話物が好きになった。着物を着てみたい。・手の向き、刀の向きがこまかくおもしろいと思った。自分も自分じゃない人を演じる道をすすんでいきたいと思っているので勉強になった。・実際に歌舞伎を見にいきたいと思った。・動きや息をあわせてやることをはじめて知っておどろいた。・木刀を買いたくなるほど楽しかった。・みんなで盛り上がれたから、すごく楽しかった。

あそびも演じることもPLAY、 失敗をおそれずに楽しもう

ミュージカル

講師：藤森裕美 東城由依
金村瞳 福岡美里 大川永 向谷地愛（イツフォーリーズ）

6

①	11月18日（金）	千葉市立朝日ヶ丘小	3年生	41人
②	12月16日（水）	香取市立わらびが丘小	1・2・3年生	中止
③	1月14日（木）	流山市立八木南小	6年生	中止

- ◆プログラム
・講師自己紹介
・ミュージカル披露
・グループでお題を表現
・「手のひらを太陽に」うたう
・グループワーク、発表



★「さんびきのこぶた」の短いミュージカルの本物の俳優さんの歌や演技に驚く。おもしろジャンケンであそぶ、グループに分かれて「お題」の動きを話し合いながら作っていった。「てのひらをたいように」の歌にオリジナル振り付けで踊る。からだも心も動かしてまとまっていった。自分たちのミニミュージカルを他のグループと見せあって、達成感を味わった。

・はじめてこんなみじかいじかんでこんなすごいげきがつくれて自分でもびっくりした。
・最初はできないかと思ったけど自分たちにもできてうれしかった。
・ミュージカルをやって「自分たちはできる」と思えばできること

音楽

講師：松本雅隆（ロバの音楽座）

身のまわりの音に耳をすませてみよう。
ほら！自然は音楽だよ！

◆プログラム

- ・耳を澄まして周りの音を聞いてみる
- ・楽器の歴史について
- ・古楽器の話と演奏
- ・森のオルゴールの制作ワーク
- ・バグパイプと森のオルゴールの演奏

①	9月10日（木）	船橋市立丸山小	5年生	47人
②	10月12日（月）	鋸南町立鋸南小	6年生	45人
③	10月13日（火）	君津市立貞元小	6年生	47人

★バグパイプのどこか懐かしい不思議な音色に包まれ、音を聞く、楽しむことに感動！トンカチの音とバグパイプの音色のコラボを楽しみながら世界に一つの森のオルゴール完成、打った釘にどんぐりや大豆がカラカラと当たると鉄琴のような音、静かな森にいるような音と子ども達は聴き分けていた。

・楽器ができた理由をみんなで考えてみると、自分の考えを表現するため、人とつながるためなど、自分が考えていなかった考えも出てきておどろいた。
・やっていたらだんだん伝えたい気持ちがわかってきて楽しくなっていて、さいこうな一日だった。
・きれいな音になっておどろいた。なんか落ち着く音で、なんか気分が晴れた。



迫力と臨場感、心に残る演奏 今年は弦楽器の弾き比べ体験

音楽

講師：松本伸二 長尾裕子 高田美樹子
鈴木奈津子（千葉交響楽団）

①	9月10日(木)	市川市立北方小	6年生	51人
②	11月9日(土)	南房総市立富山小	6年生	37人
③	11月27日(金)	浦安市立美浜北小	6年生	40人

◆プログラム

- ・オーケストラの話
- ・実演 ピアノ・ヴァイオリン・
ヴィオラ
- ・楽器体験
- ・演奏と児童の合唱(手・足拍子)



★体育館に響き渡る生演奏の迫力と臨場感に心動かされ、前のめりになっていった。曲に合わせて体を揺らす子や微動だにせず真剣に聞いている子と様々。ヴァイオリンとビオラを弾き比べ体験し、音の高さの違い、意外と軽いつか、ビオラの弓が太くて弾きやすい等発見。演奏者の世界を垣間見た。

- ・ヴァイオリンの体験で、弾くと抑える方、片方忘れちゃう。
- ・体験して気持ちいい。力をいれないといい音色が出た。
- ・せんさいな楽器を自由自在にあやつれるのがすごい。
- ・コンサートにも行ってみたいと思った、バイオリンの演奏の時、ゆびの動きも早くてびっくりした。でも音はすごいきれいですてきだった。

人形劇

講師：永野むつみ 大沢直
(人形劇団ひぼぼたあむ)

色とりどりの材料や道具を自由に使っていい！
発想の自由は、誰も邪魔できない！

①	10月7日(水)	市川市立大町小	5・6年生	32人
②	12月1日(火)	浦安市立美浜南小	特別支援学校1~6年生	10人

- ★悩んで選んだきれいな紙袋をギュッとおにぎりに・・・、「え～?!」。勇気を出すとニコニコ!やるぞ!のスイッチが入った。色とりどりのペーパーやリボンに自然と作ってみたいという感情が生まれた。はさみをシャキシャキが気持ちいいと没頭する子。自分で選び作った達成感、最高!
- ・持ち帰った作品に名前を付けて家で話をしていた。
 - ・いろいろなのはそうがあり楽しかった。わたしはたくさん足のつけた。
 - ・うるこをつけてもあまりおよがず、トカゲとヘビをがったいさせた生き物ができた。またつくりたい。
 - ・やってみたら楽しく、どんどん作れた。さいごになんという生き物にするかもちょっと楽しかった。

◆プログラム

- ・3分間人形劇実演
- ・見たことのない生き物をつくろう
- ・どんな生き物が発表



狂言

講師：大蔵教義 吉田信海
小梶直人 上田圭輔（大蔵流吉次郎狂言会）

室町時代から現代までほとんど形を変えずに
伝わっている 伝統の重みを感じた

①	9月1日(火)	木更津市立東清小	全校	55人
②	9月2日(水)	茂原市立新治小	3・4・5・6年生	26人
③	9月3日(木)	茂原市立西小	6年生	40人
④	9月4日(金)	習志野市立袖ヶ浦西小	6年生	29人
⑤	9月9日(水)	野田市立二ツ塚小	6年生	38人
⑥	9月10日(木)	市川市立稲荷木小	6年生	68人
⑦	9月11日(金)	市原市立五所小	6年生	43人
⑧	9月15日(火)	市原市立光風台小	6年生	47人
⑨	9月16日(水)	市原市立戸田小	6年生	27人
⑩	10月12日(月)	九十九里町立片貝小	5年生	25人
⑪	10月14日(水)	富里市立浩養小	5・6年生	23人
⑫	12月8日(火)	いすみ市立東海小	6年生	25人
⑬	12月9日(水)	いすみ市立太東小	6年生	32人
⑭	1月27日(水)	佐倉市立臼井小	6年生	中止
⑮	2月16日(火)	成田市立遠山小	4・5・6年生	中止

◆プログラム

- ・狂言の解説
- ・「柿山伏」披露
- ・登場人物クイズ
- ・発声 構え
- ・装束試着体験
- ・質問



- ★みんなの気持ちをリラックス。「今日、朝ごはんは何食べた?」固まった体もほぐれて、座り方、あいさつの仕方、伝統芸の厳しい所作も体験。実演の「柿山伏」では、子どもたちに質問、「どちらが悪い」に考え込む。実際に使われている、面、衣装を目の前でみながら説明をきいた。声の出し方、笑い方、歩き方を体験。
- ・マイクを使ってる声より、演じている時の声の方が大きくてびっくり。面の表情がゆたかなことをして、すご!!と思った。
 - ・国語の授業でやった時はよくわからなかったけど、じっさいにみて、とても面白かった。

ダンス

講師：安西真幸 安西千紗

「いいね！その動き！」
音楽がかかると…あれ?! 踊れた!!

①	10月7日(水)	市川市立稲越小	5・6年生	57人
②	11月11日(水)	野田市立木間ヶ瀬小	1・2・3年生	85人
③	1月21日(木)	香取市立小見川東小	全校	中止

◆プログラム

- ・ウォーミングアップ
- ・実技披露
- ・みんなで踊る
- ・みんなでダンスを考える
- ・仕上げ ダンスを実演



★学年に合わせたプログラムを用意、相手を感じあう動きがダンスになった。ビニール手袋で支えあいポーズ。密にならない「近づかないおにごっこ」やソーシャルディスタンスを考えた「空気のキャッチボール①ボール②ピンポン玉③生卵④すいか」もいつの間にか振付に。ステップやリズムに乗せて思いっきり踊り気持ちよさそうだった。

- ・きれっきれでダンスをおどれたのでとてもたのしかった。
- ・先生のダンスかっこいいなあ〜と思った。ふりつけもかっこよくて…おもしろくて、すごくてたのしかった。さいご、チームにわかれて、自分で考えたり、動きのアイデアを出しあったりして、す〜ごく、楽しかった!!

パントマイム

講師：チカパン (パントマイムプラネット)

◆プログラム

- ・パントマイムショー披露
- ・パントマイム体験
- ・グループで作品づくり
- ・発表



自分のアイディアでやってみよう！答えや正解はない

★真剣に講師の演技を見て歓声があがり、緊張もほぐれて壁のマイム、エレベーターに挑戦。言葉を発しないで色を表現。壁からの脱出では、自分なりの考えで演じて脱出した。自分の頭の中のイメージをパントマイムにすることに集中していた。

- ・意外とやってみると難しくて苦戦した。だけど自分の気持ちを表現できて楽しかった。
- ・実物がなくて表現できることがすごい。自分も想像力を使って表した。
- ・パントマイムって深いんだなと改めて思った。そしてとても興味があった。

①	10月19日(月)	千葉市稲浜小	6年生	35人
②	10月29日(木)	船橋市立田喜野井小	5年生	55人
③	12月8日(火)	市原市立寺谷小	4・5・6年生	37人
④	12月9日(水)	習志野市立向山小	2年生	42人
⑤	12月16日(水)	旭市立豊畑小	6年生	33人
⑥	12月17日(木)	館山市立神余小	全校	15人
⑦	12月18日(金)	旭市立滝郷小	1・2年生	中止
⑧	1月13日(水)	流山市立西深井小	6年生	27人
⑨	3月8日(月)	旭市立鶴巻小	5・6年生	中止

和太鼓

講師：佐々木美菜子

MORIMITSU 河原貴裕 関根まこと 坪本寧央

◆プログラム

- ・講師演奏
- ・楽器紹介
- ・準備体操
- ・体験ワーク
- ・太鼓体験、発表会
- ・大太鼓をたたく
- ・講師演奏



いいね！ダイナミックだよ！

歌にするとできちゃうよ。みんないいね！

★体育館にずらりと並べられた長胴太鼓、締太鼓、桶胴太鼓、平胴太鼓。講師の演奏が始まるとあちこちから驚きの声があがった。「どんぐりころころ」の曲に合わせてリズムを覚えていく。

グループ交代で叩いていくと音も大きく強くなってきた。緊張から自信に変わり、最後はどの子も見事な演奏になった。終わりには表情が変わり達成感をえていた。

- ・すごくむずかしかったけど、頑張ってよかったなと思った。
- ・音がすごくていんしょうに残りました。大たいこがすごく大きくてやりたくなりました。もっと1やりたくなりました。

①	10月9日(金)	千葉県盲学校	小学・中学部	18人
②	11月11日(水)	我孫子市立布佐南小	3年生	23人
③	12月4日(金)	東金市立源小	全校	26人
④	1月29日(金)	いすみ市立東小	5・6年生	中止

バレエ

講師：日原永美子

山口緋奈子 吉田邑那 中武啓吾

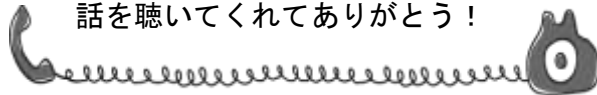
◆プログラム

- ・バレエの歴史と解説・「白鳥の湖」の解説・実技披露
- ・ワークショップ ストレッチ、手足のポジション説明
- ・バーレッスン・センターレッスン・マイム バレエのお辞儀

①	2月16日(火)	旭市立飯岡小	6年生	中止
---	----------	--------	-----	----



話を聞いてくれてありがとう！



チャイルドライン千葉

【2021年2月28日現在の状況】

- 開設：2020年4月1日（木）～2021年2月27日（土）
- *日曜、祝日、年末年始は休み、緊急事態宣言中は28日間の開設休止
延べ総開設日数 243日 延べ総開設時間 896.5時間
件数 4,170件 *チャット開設日17日、時間156時間を含む
- ボランティアスタッフの安心安全に配慮し、コロナ感染対策をとって実施した。4月～6月は電話の開設日を減らしての実施としたが、チャット開設を増やし、複数ツールで子どもの声を聴くことが出来た。
- ☎4月～夏休みまでは分散登校やコロナ禍での学校生活、家族とのギクシャクした話を聴くことが多く、2学期以降は友だち関係や部活動、勉強や受験のこと、身体と心の性の不一致、親との関係、学校に行きたくないなどの話となった。1月以降は電話、チャットにかかわらず、死にたい、生きていても仕方がない、自殺を考えるなどの希死念慮の言葉が話の中に出始めた。
- ☎子ども自身も特に理由はないけど何となく…と言い、社会を取り巻く緊張感や不安感の中で、心と身体のバランスが崩れ始めているのではと思われる。

ママパパラインちば

【2021年2月28日現在の状況】

- ◆常設：2020年4月3日（金）～2021年3月26日（金）
10：00～16：00（4月10日（金）～5月29日（金）8回は緊急事態宣言中は休止）
- ◆全国キャンペーン：2021年2月15日（月）～2月20日（土）6日間 10：00～16：00
- ◆開設日合計：47日
- ☎電話の総件数は184件（2月末）。
行政訪問等でカード配布の効果が出ている。学校から配布のカードは信頼度が高く、カードを見てかけて来られる方は多い。
- ☎相談の内容は、子どもに関して、年令では3歳から未就学児が76件、小学生80件で合わせて全体の84%と多い。今年特に増えているのが、かけ手自身（ママ）の話が87件（39%）、夫・妻との関係37件（17%）と多かった。夫への不満やイライラを訴える電話や離婚や離婚調停の話も入っている。
- ☎コロナ禍の為、在宅ワークや休校で家族の在宅時間が長く、イライラやストレスを感じている。

IT 情報発信戦略プロジェクト

- 「オンライン技術サポート研修」を実施した。
- ② 団体正会員 ZOOM 交流会（5/22（金）参加者：40人）を実施。
- ②目的別にAグループ、Bグループに分けて募集し、個別と参加者交流会を交えて通年でサポートをした。
- Aグループ：ZOOMのホストになるサポート**
ZOOM ミーティングのスケジュールと招待、各種機能、イベント実施時の対応方法
- Bグループ：団体の状況や課題に応じて、必要なオンライン」インツールに関する活用サポート**
IT 全般の課題や解決法を共有、質問に答える交流会、地域社会への情報発信のための、Facebook、Instagram、Google フォームの技術サポート

市町村行政訪問事業

- ・千葉県教育委員会 児童家庭課他
- ・県内54市町村 教育委員会 子育て支援課 NPO担当課 子育て世代包括支援センター
- チャイルドライン千葉
ポスター942枚 県内公立高校、中学校、小学校
カード182,720枚、県内小学校769校
- ママパパラインちば
ポスター4,600枚、子育て支援課を通じてカード59,800枚、教育委員会を通じて小学校へ79,900枚。
- チャイルドライン千葉 ママパパラインちば
番号掲載、Web 上掲載
船橋市・柏市・市川市・浦安市・成田市・木更津市・君津市・佐倉市・匝瑳市・八千代市・袖ヶ浦市・茂原市・富津市・長生村・横芝光町・多古町・南房総市・
- 千葉県議会議員94名に、チャイルドラインとママパパラインの理解を得るため年次報告書を届けた。

編集後記

2020年度の子ども劇場千葉県センターの事業は、コロナ禍でも中止することなく、計画したすべての事業をやりきりました。今号は、この1年間に実施した芸術文化推進事業を特集号として一挙掲載しました。「はじめてのおしばい」3か所、「QOL向上のための笑顔の贈り物事業」18か所、「芸術家派遣事業」80か所に加え、新たに、「将来生きる力となる非認知能力を育み、身につける最適な時期は乳幼児期であることに着目した事業」を20か所で実施しました。改めて、芸術の力は、赤ちゃんの時から子どもたちの成長発達に必要な不可欠であること、生きる力を育み子育て支援にも有効であること等、連携して実施することで多くの方々とその感動と効果を共有できました。地域のコーディネーターの皆様と共に、総力あげて1年を走るようにミッションの実現にまい進しました。

2021年3月11日、東日本大震災から10年が経ちました。特集番組が連日組まれ、あの「♪花はさく」のメロディーが、世界中の人々によって、祈りと希望をもって歌われている映像に涙が溢れました。歌によって世界中がつながっていくように、芸術は心の奥の深いところで人々をつなげていくのです。

